

## 會 務

土木學會誌 第十六卷第七號 昭和五年七月

○昭和五年五月三十日役員會を開く、中川會長、眞島副會長、近、谷口、平井の各常議員及丹治、牧野兩主事出席、中川會長議長席に着き下記事項を決議せり。

△資源局より照會に係る協同研究に關する件は意見なき旨回答すること。

△大堰堤國際委員會に關する報告の件は之を承認すること。

△震害調査報告書英譯費の件に就ては田邊前會長に一應報告すること。

其の他會務に關する事項

○同年六月十一日編輯委員會を開く、黒河内委員長、井上、岡田、鈴木、田中、三浦の各委員及菊池囑託出席、會誌編輯上に關し協議を爲せり。

○准員 松井惣太郎君及同高橋猛雄君は退會せられたり。

○昭和五年六月一日以降 同月末日迄に入會の手續を了し名簿に登録したる者下記の通り (○印は轉格者を示す)。

### ( 准 員 )

宮 本 喜 郎君	森 西 次 郎君	山 田 二 三 男君	竹 本 寅 之 助君
○東 芳 男君	藤 井 勇 君	○水 野 高 明君	○宮 崎 孝 介君
○高 野 宗 久君	○天 野 良 吉君	萬 斯 選 君	○親 谷 貞 三君
清 水 川 正 男君	丹 羽 武 雄君	○平 瀬 秀 博君	船 起 春 雄君
○森 田 定 市君	山 本 茂 君	石 原 藤 次 郎君	小 熊 正 虎君
大 石 重 成君	太 田 稔 君	笠 原 正 夫君	佐 藤 豪 君
○坂 口 麗 紀 夫君	○高 橋 俊 二君	高 瀬 太 吉君	○野 坂 孝 忠君
○木 村 二 郎君			

### ( 學 生 員 )

菊 井 盛 一君	菅 原 修 雄君	石 田 武 雄君	板 倉 忠 三君
大 野 信 雄君	川 勝 常 次 郎君	川 村 武 夫君	貝 島 太 三 郎君
黒 澤 喜 代 治君	佐 島 秀 夫君	佐 藤 寛 政君	重 定 昇 君
鈴 木 信 孝君	角 田 敏 雄君	竹 重 貞 藏君	橋 善 雄 君
鐵 清 司 君	永 田 肇 君	長 久 程 一 郎君	南 保 賀 君
西 畑 忠 雄君	野 上 強 四 郎君	野 田 道 也君	樋 口 朝 次 郎君
菱 田 英 三君	松 下 登 利 雄君	前 田 榮 太 郎君	三 上 健 三 郎君
宮 下 壽 雄君	柳 井 二 郎君	山 田 壽 雄君	

○昭和五年六月十六日以降七月十五日迄に於て寄贈竝に交換を受けたる雜誌其の他下記の通り。

## 寄贈の分

地震と建築	1冊	會員眞島健三郎君
工業品規格統一調査會概況	1冊	商工省工業品規格統一調査會
地熱發電の研究	1冊	太刀川平治君
工業第48號	1冊	大阪工業會
工學部記要第4號	1冊	北海道帝國大學工學部
同 第19冊第1,2號	2冊	東京帝國大學工學部
同 第5卷第5,6,7號及第6卷第2號	4冊	京都帝國大學工學部
工業之大日本第27卷第6號	1冊	工業之日本社
工人第6月號	1冊	日本工人俱樂部
水曜會誌第4號	1冊	京都帝國大學採礦冶金科教室
セメント界彙報第236, 237號	2冊	日本ポルトランドセメント同業會
セメント; コンクリート道路	1冊	同上
セメント工業第6, 7號	2冊	土木建材商報社
鐵道技術第4卷第6號	1冊	鐵道技術社
電氣製鋼第6卷第6號	1冊	電氣製鋼研究會
土木試驗所報告第16號	1冊	內務省東京土木出張所
東京工業會誌第7號	1冊	東京工業會
東京土木建築業組合報第6號	1冊	東京土木建築業組合
名古屋工業會々報第86號	1冊	名古屋工業會
日立評論第6號	1冊	日立評論社
滿洲電氣協會々報第3號	1冊	滿洲電氣協會
三菱電機第6卷第6號	1冊	三菱電氣神戶製作所
ワット第6號	1冊	ワット社

## 交換の分

業務研究資料第18號4—16號	13冊	鐵道大臣官房研究所
工政第127號	1冊	工政會
工業化學雜誌第7冊同歐文綴	2冊	工業化學會
港灣第7號	1冊	港灣協會
帝國鐵道協會々報第6號	1冊	帝國鐵道協會

鐵と鋼第 16 年 5, 6 號	1 冊	日 本 鐵 鋼 協 會
電氣學會雜誌第 503 號	1 冊	電 氣 學 會
日本建築士第 6 號	1 冊	日 本 建 築 士 會
日本鑛業會誌第 542 號	1 冊	日 本 鑛 業 會

會員瀧野廉一君は昭和五年六月逝去せられたり、本會は靈前に弔詞を呈し哀悼の意を表したり。

## 寄稿に関する注意事項

- (1) 御寄稿は成るべく本會の原稿用紙を用ひ横書きとすること。原稿用紙は御請求次第送附す。
- (2) 御寄稿は止むを得ざる場合の外は成るべく本會の原稿用紙 200 枚（本會誌 50 頁）程度とされし。若し前記頁數を超過する場合は適宜其の程度に縮少を御願ひすることもあるべし。
- (3) 假名は平假名とし、數字はなるべくアラビヤ文字を用ひられたし。
- (4) 歐字は特に明瞭に認むること。  
n と u, u と v, r と v, a と α, r と γ  
其の他頭字と小字とを判然たらしむる事。
- (5) 原稿には必ず冒頭に英文表題及内容梗概を添附されたし。
- (6) 附圖附表に就ては次の各項に御注意ありたし。
  - (イ) 圖面はその儘縮寫し得る様にトレーシング・ペーパー、オイル・ペーパー、トレーシング・クロス等とす。
  - (ロ) 凡て墨色を用ひインキ類或は彩色を施さざる事。
  - (ハ) 方眼紙は青罫のものを用ひ（黄色、赤色の罫は使用せざる事）縦横線を必要とする部分には強め墨線にて之を描き置かれたし。
  - (ニ) 圖表中の文字、數字は特に大きく肉太に書き縮寫したる後明瞭たらしむる事。
  - (ホ) 圖表類は製版の都合上可なり汚損するものと豫め御含み下されたし。
- (7) 寫眞は特に明瞭なるものを送られたし。
- (8) 講演、論說報告の各欄に掲載の分には抜刷 20 部を寄稿者に贈呈するものとし、尙寄稿者の希望に依り實費にて御要求に應ずる事あるべし。

### 算式其の他の記し方大體標準。

- (1) 本文、文字間に算式を挿入する場合には次の如く記すこと。 $a/b$  と書き  $\frac{a}{b}$  を避けること。 $(a+b)/(c+d)$  と書き  $\frac{a+b}{c+d}$  を避けること。
- (2) 獨立したる列に算式を記す場合は次の如く記すこと。 $\frac{1}{3}x$  と書き  $\frac{x}{3}$  を避けること。 $\frac{1}{2}(a+b)$  と書き  $\frac{a+b}{2}$  を避けること。 $\frac{a}{b+d}$  と書き  $\frac{a}{b+d}$  を避けること。
- (3) 千以上の數字は 53,247,000 の如く 3 つ單位に間隔をあけること。
- (4) 名數は次の如く記し括弧の中の様を書くことを避けること。  
83.4 尺（八丈三尺四寸）、7 吋（七吋）、35 錢（三十五錢）、18.56 圓（十三圓五十六錢）、1~4 時間（一乃至四時間）、88,326 噸（八萬八千三百二十六噸）、1929 年 1 月 1 日（千九百二十九年一月一日）。

# 正 誤 表

軌近に於ける地下埋設物の整理に就て  
(第十六卷 第六號 所載)

頁	行	誤	正
1	11	地下に	道路内に
2	6	幾らか	幾分でも
2	7	地下の	路下の
”	26	中心地の	都心地の
3	9	地下の	路下の
3	15	—	一寸を削除す
4	自 1 至 2	設られたものであります	設られたものが最初であります
”	8	共同坑に	共同管道に
5	5	下水は	排水は
5	24	125 ボンド	124 ボンド
”	26	125 ボンド	124 ボンド
5	28	2480 ボンド	2,490 ボンド
”	32	10 間位	10 間餘
6	7	ピカデリサーカスの	ピカデリーサーカスの
”	”	地下鐵道のステーションの	地下鐵道ステーションの
”	8	1927 年	1928 年
”	9	28 年	27 年
”	32	小包の	小包用の
7	3	逕信省の	電話線路の
8	21	中心部にては	都心部にては
9	9	ものでありませぬ	ものはありませぬ
9	10	一現況圖を	敷設圖を
10	19	直接に	直接歩道下に
12	4	一箇所で	二箇所で
12	7	掘鑿中には	掘鑿内には
13	12	25 528 400 圓	25 528 000 圓
”	13	官公會社に	官公所會社に
”	14	官公會社自身	官公所會社自身
”	28	設計が地上の構造物に對して	設計が土地に對して
15	31	官公會社から	官公所會社から
”	自 31 至 32	工務課長に	工務課内に
16	13	東京驛管道	東京驛虫口管道
”	14	共に皆收容	共に收容
20	自 22 至 26	近頃用ひられて……と思ふのであります	(近頃用ひられて……と思ふのであります)
”	27	即ち街路を……と思ふのであります	(即ち街路を……と思ふのであります)
”	31	ロンドン市ピカデリーサーカス地下埋設物	ロンドン市ピカデリーサーカス共同管道
附圖第二	上段	一般平面圖	一般平面圖
附圖第二十	縦斷面圖	圖面轉倒	
附圖第二十六 下段右		表末に備考として以下を加へること $V$ = 通風速度…………… $\frac{R}{分}$ $q$ = 通氣量……………立方尺/時 $R_1$ = 十時間後 = 於ケル最初ノ氣體殘量……………立方尺 $R_2$ = 三時間後 “…………… “ $r = 7\%$ ノ混合比ヲ生ズヘキ瓦斯ノ洩量……………立方尺/時	

## 雜誌閱覽に就ての會告

下記の雜誌は本會事務所に備付置候間御希望の向は下記時間内御随意に御閱覽相成度候。

### 閱 覽 時 間

日曜日及祭日休、土曜日自午後一時至同四時、其他自午後四時至同八時。

但し役員會、委員會等開催の日は御斷り致すこと有之哉も計られず候間豫め御承知置被下度候。

### 備 付 雜 誌

Engineering Engineering News-Record Le Génie Civil Railway Gazette 衛生工業協會誌 機械學會誌 業務研究資料(鐵道大臣官房研究所) 建設 建築雜誌 工學部紀要(東大、京大、九大) 工學報告(東北帝大) 工業化學雜誌 工事畫報	工 港 政 港 灣 國 際 建 築 時 論 造 船 協 會 々 々 報 帝 國 鐵 道 協 會 々 報 鐵 與 鋼 電 氣 學 會 誌 電 氣 製 鋼 土 木 建 築 雜 誌 日 立 評 論 名 古 屋 工 業 々 報 滿 洲 技 術 協 會 誌 其 他 寄 贈 雜 誌
---	---

### 廣 告 料 (東京市京橋區築地上柳原町八番地 東京第一通信社取扱) 電話京橋874番、振替東京3069番

普通廣告 一回一頁 40圓 一回半頁 25圓

指定廣告	}	裏表紙三面對向 及廣告初頁	一回一頁 60圓
		裏表紙三面	一回一頁 150圓
		色アート	一回一頁 75圓

- 指定廣告は凡て一箇年繼續申込のものに限り取扱ふものとす
- 會員自身の廣告に對しては總て上記料金の一割引とす
- 同一廣告の連續掲載申込に對しては半箇年分五分引、一箇年分一割引とす
- 廣告に寫真版又は木版等を挿入する場合は之に要する實費を別に申受くるものとす

## 新入會者にして既刊會誌希望者に告ぐ

本會々誌は新入會者には入會の月より以降發行に係るものより配布致すべきに付其の以前の會誌御希望の場合は一部に付下記金額振替口座東京一六八二八番に拂込み用紙通信欄に其旨記入請求せられたし

### 残 部 内 譯

第五卷一號二號	一 部 金	壹 圓	四 圓
第六卷六號	同 金	壹 圓	四 圓
第七卷二號三號四號	同 金	壹 圓	四 圓
第八卷一號	同 金	壹 圓	四 圓
第九卷一號二號三號五號六號	同 金	壹 圓	四 圓
第十卷二號三號四號五號六號	同 金	壹 圓	四 圓
第十一卷二號	同 金	壹 圓	四 圓
第十二卷二號三號五號六號	同 金	壹 圓	四 圓
第十三卷二號三號六號	同 金	壹 圓	四 圓
第十四卷一號二號三號四號五號六號	同 金	壹 圓	四 圓
第十五卷一號二號三號四號五號六號	同 金	壹 圓	四 圓
同 七號八號九號十號十一號十二號	同 金	壹 圓	四 圓
第十六卷一號二號三號四號五號六號	同 金	壹 圓	四 圓
東京市内外交通に關する調査書	同 金	拾 圓	八 圓
震害調査報告書(一、二、三)	同 金	拾 圓	八 圓

### 本會會員轉居又は旅行の場合の注意

會員の住所の不明なときは會誌の配布を始め其他通信上に差支候に付御轉居の際は至急明細に御通知相成度又御旅行等にて御不在となるも會費支辨には差支なき様御配慮相成たし

### 會 費 納 付 に 付 注 意

本會々費は下記の通りにして本會より發する振替集金に對し是非御支拂願度事若し此の集金書へ十五日間中三回の取立金支拂なき場合は最寄郵便局に就き本會振替口座東京一六八二八番に(拂込用紙通信欄に會費たる事を記入の事)御拂込相成度尙會費一時納付の御豫定又は其の他の都合に依り支拂なき場合は直に御通知相煩度

朝鮮滿洲の一部及び青島等振替貯金を取扱はざる地に居住せらるゝ會員は納期の翌月末頃迄集金を受けざるときは爲替其他の方法に依り直ちに御送金相成たし

會員種格	會 費 年 額	自一月 至四月 第一期分二月徴收	自五月 至八月 第二期分六月徴收	自九月 至十二月 第三期分十月徴收
會 員	金 拾 八 圓	金 六 圓	金 六 圓	金 六 圓
准 員	金 拾 貳 圓	金 四 圓	金 四 圓	金 四 圓
學 生 員	金 七 圓 五 拾 錢	金 貳 圓 五 拾 錢	金 貳 圓 五 拾 錢	金 貳 圓 五 拾 錢

新に入會したるものは月割算として入會の翌月集金を發す

### 會 費 未 納 に 付 注 意

會費は從來年額を第一期第二期第三期に分割し毎年二月六月十月に振替貯金郵便として取立方を郵便局に依託の處往々集金郵便に對して故なく支拂を拒絶し尙他の方法に依りても送金なき者あれ共斯くては會費滞納者として遺憾ながら規則第十三條第一項に依り遂に會誌の配布を停止せらるゝに至るべく又本會に於ても未納金督促の手續一通ならず故に今後右様のことなき様特に御留意の上集金郵便に御拂込相成たし

### 會 誌 未 着 の 場 合 の 注 意

會誌は毎年毎月十五日(印刷又は原稿等の都合に依り遅延する事あり)に發行し漏なく配布すべきに付未着の場合には一應本會に御照會相成たし從來往々發行後數ヶ月經過して照會せらるゝ向あるも斯くては殘部皆無となり遺憾ながら配布不可能のことあるべきに付御留意相成たし